事務事業チェックシート

事務事業No	事業名
12238	展示資料充実事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政　策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施　策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	博物館費		
	大事業	博物館事業		
	中事業	展示資料充実事業		

事業種別	継続	関連個別計画			
事業年度	無し　～　無し	担当課・担当課長・Tel	博物館	近藤　壮	423-0003
事業実施の根拠法令	博物館法・文化財保護法・和歌山市立博物館条例	関連課			

1　事業内容

	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)	全体事業概要
事業目的	和歌山市に関する貴重な資料を購入するとともに、郷土資料の寄贈・採集により、博物館資料の充実を図る	展示等に活用するため、資料の購入等により、博物館資料の充実を図る。

事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
	館蔵資料の充実を図り、展示及び調査研究に役立てる。	館蔵資料の充実を図り、展示及び調査研究に役立てる。	郷土資料の寄贈・採集により、資料の充実を図る	郷土資料の寄贈・採集により、資料の充実を図る	郷土資料の寄贈・採集により、資料の充実を図る

2　事業コスト

事業費等（千円）		平成28年度 当初予算	平成28年度 決算	平成29年度 当初予算	平成29年度 決算	平成30年度 当初予算	平成30年度 決算	平成31年度 当初予算	平成31年度 決算	令和02年度 計画	令和02年度 決算
事業費		2,200	2,150	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	0	2,000	0
伸び率（%）		10%	7.5%	△9.1%	△7%	0%	0%	0%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	3,895	2,782	2,792	1,994	3,437	1,279	1,279	0	1,279	0
	正規職員以外	644	510	475	475	323	693	693	0	693	0
	小計	4,539	3,292	3,267	2,469	3,760	1,972	1,972	0	1,972	0
国庫支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市　債		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他		133	299	0	0	150	180	205	0	205	0
一般財源（税等）		2,067	1,851	2,000	2,000	1,850	1,820	1,795	0	1,795	0
所要人数（人）	正規職員	0.49	0.35	0.35	0.25	0.43	0.16	0.16	0.00	0.16	0.00
	正規職員以外	0.24	0.19	0.19	0.19	0.13	0.14	0.14	0.00	0.14	0.00
主な予算内訳		展示資料の購入2,000千円									

3　目標及び実績

	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
活動指標	資料購入評価委員会の年間開催数	回	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	1	1	1		
			達成度(%)	100%	100%	100%	0%	%
			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					
成果指標	購入資料件数	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	2	1	1		
			達成度(%)	20%	10%	0%	0%	%
	寄贈件数	件	目標値	10	10	10	10	10
			実績値	14	34	11		
			達成度(%)	140%	310%	110%	0%	%

4　事業の評価

評価基準						
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい		減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要		見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能		市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む		緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない		できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している（90%以上）	○	おおむね達成（70～90%未満）		達成していない（70%未満）
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある		貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある		できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない		見直しが必要

5　今後の方向性（担当課評価）

事業内容の方向性				
充実				
現状維持			○	
縮小				
廃止				
	ゼロ	縮小	現状維持	拡大
	コスト投入の方向性			

担当課評価の根拠	調査研究に必要な資料の購入はある程度できているのだが、本市の博物館に所蔵すべき資料の中には、高額なものも多く、館蔵資料の充実を進めることにより、より充実した展覧会の開催ができるものと考える。
見直し・改善内容	近年、和歌山ではいわゆる古美術品コレクターが収集した資料が代替わり等により手放すケースが増えている。これらは、本市にとって二つとない重要な資料ばかりであり、これらを散逸させないためにも、購入予算を確保してゆくことが重要である。